

## 平成 28 年度 第 5 回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成 29 年 2 月 22 日（水）18:30～20:00  
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 8 名…柏崎、澤田、岩堀、神津、島田、妻沼、吉田、高橋  
欠席者 3 名…井上、西條、永野  
事務局 2 名…市民生活課 山中、安陪  
指定管理者 2 名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 高橋、山本  
傍聴者 1 名

配布資料 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声  
2 のたろんフェア 2017 報告  
3 サポートセンター等の配置適正化実施計画（素案）について  
4 YMCA コミュニティサポート 2017 年度事業方針・計画書（案）  
5 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体  
6 平成 29 年度運営懇話会日程（案）  
7 市民協働推進補助金・企画提案型モデル事業プレゼンテーションスケジュール

### 1 報告事項

#### 1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料 1 に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・利用者数・利用団体数ともに昨年度並み。平成 8 年以降右肩あがりではあるが、一昨年頃から伸び率低迷ぎみ。
- ・利用者の声では、カラー印刷機の導入に関する要望や、利用者のマナーについて、施設配置適正化計画に関するものが多かった。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・利用者数は昨年度比やや減。印刷機・コピー機は毎月の実績に波があり傾向が読みづらい。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・活動紹介コーナーのなかで集客が多かったものは。  
→圧倒的に「『おっぱまロケット』第 3 回秋水展」が好評であった。（指定管理者）

#### 1-（2）のたろんフェア 2017 報告

指定管理者から資料 2 に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・準備等で雪がちらつく場面もあったが、2日間ともに天候に恵まれ、昨年度を超える来場者数となった。
- ・フェアに参加した団体から、汐入駅側から来ると何のイベントをしているかわかりづらいといった声や、レイアウトに関する提案、署名用紙をチラシのように配布したいという意見などがあつた。来年度に向けた検討事項としたい。
- ・片付け時にボランティアの方が備品でけがをした。実行委員会は報告会をもって解散となるが、事故が起きてしまったことを重く受けとめ、対策を考えたい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ショッパーズプラザで実施した「のたろんステージ」をユーストリームで配信し、サポートセンターのモニターに映していたが、音が小さく迫りに欠けた。  
→今年度はモニターのサイズを大きくしたところ、前で立ち止まる方が例年より多かった印象。物理的には音量を大きくできるが、近くでパネル展示の説明をしている団体もあるため、現状がベストと思われる。(指定管理者)
- ・以前にも提案したが、横須賀中央駅へポスター掲示依頼をしたほうがよいのでは。  
→ご意見としていただいていたが、今年度は未交渉だったと思われる。来年度は確実にを行うよう広報計画に入れたい。(指定管理者)
- ・自分の団体の活動のみに専念している方が多く、もったいなかった。周囲にも目を向けてもらうよう説明会などで案内してほしい。  
→年間の活動費のほとんどをフェアの収益で得ている団体があることは事実であり、それもフェアの目的のひとつであるので否定はできない。ただし、フェア全体として、一般の来場者にできるだけ市民活動について知ってもらうという大きな目的があるので、物品を販売する際に、活動内容を書いたチラシを渡すよう説明会などで何度もお願いはしている。  
夢中で販売していると、徐々に掲示等が見えなくなってしまうことはあるかもしれない。実行委員会で声かけが必要か。(指定管理者)
- ・今回の市長と話す車座会議は、自分に身近なテーマであり友人などにも好評であった。
- ・運営懇話会の構成員募集のチラシを配布し宣伝したが、活動自体があまり知られていないようだった。
- ・準備等で熱意のあるボランティアの方が、周囲を確認せずにどんどん備品等を運んでいる様子が見受けられ、危ないと感じた。  
→はりきって作業しているときに事故が起きやすい。反省を活かし現場の指揮系統をしっかりとさせていきたい。(指定管理者)
- ・サポートセンターにヘルメットはないのか。  
→災害用の数個のみ。根本的なやり方の見直しも考えている。時間をかけて検討したい。(指定管理者)
- ・ランドセルなど不要になったものを寄付したくても、どこにすればよいかわからないという人が多いのでは。趣旨とずれるかもしれないが、不用品募集に取り入れられないか。  
→アイデアとして新しいものを取り入れていく必要はあるが、寄付したい人と受入れる人の仲介をすることになるので、新しいプロジェクトとなってしまう。うまくコーディネートできるか難しさはある。アイデアはよいので次の実行委員会に引き継ぎたい。(指定管理者)
- ・スタンプラリーは、場所を聞くだけであっても6団体と話ができるので、よい企画だと思う。

### **1－（3）サポートセンター等配置適正化実施計画（素案）について**

市民生活課から資料3に沿って報告した。

（市民生活課）

- ・懇話会でもご意見をうかがってきたが、市民意見交換会などで出た意見も踏まえ、総合的に検討をした結果、サポートセンターの移転は行わないこととなった。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・特になし。

### **1－（4）平成29年度事業計画について**

指定管理者から資料4に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・平成29年度からの4年間、NPO法人YMCAコミュニティサポートが指定管理者として市民活動サポートセンターの運営管理をすることとなり、その初年度となる。
- ・当資料はNPO法人YMCAコミュニティサポートの法人としての事業方針・計画であるため、サポートセンターの管理運営業務と、サポートセンターを中心とした自主事業と、NPO法人としての独自事業がすべて含まれている。
- ・お示ししているものは案であり、法人としての決定は3月の総会后となる。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・「ステークホルダーとの連携による情報発信」とはなにか。  
→例えば、経済界でいうと商工会議所と組んで新しい情報発信を行うということ。商店街や大学なども連携していきたい。（指定管理者）

（座長）

- ・この件については来年度の懇話会でも取り上げる予定。

## **2 議題**

### **2－（1）データベース登録団体と公益性の判断について**

指定管理者から資料5に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・特になし。

## **3 その他**

### **3－（1）平成29年度運営懇話会開催日時について**

市民生活課から資料6に沿って説明した。

(市民生活課)

- ・ 構成員が改選で変わるため、8月以降の日程は、5月の懇話会で再度調整したい。

### **3-(2) 市民協働推進補助金・企画提案型モデル事業応募状況等について**

市民生活課から資料7について説明した。

### **連絡事項**

(市民生活課)

- ・ 平成29年2月11日に市制施行110周年記念式典にて市民表彰があった。市民公益活動に貢献された団体として、運営懇話会でご意見をいただいた候補から指定管理者に3団体を推薦いただき、「三浦半島活断層調査会」「横須賀『水と環境』研究会」「横須賀断酒新生会」が表彰された。

以上